

うえだ かおる
「上田 薫 展」 プレスリリース

左=上田薰《なま玉子A》1975年、
群馬県立近代美術館蔵。
右=《スプーンのジャム》1974年、
東京都現代美術館蔵



1 開催趣旨

上田薰（1928～）は、写真を使って対象を精巧に描き出す画家です。作品の多くは、殻からつるりと落ちてくるなま玉子、スプーンから流れ落ちそうなジャム、水の流れや空など、一瞬で姿を変えるものをモチーフとしており、その鮮烈なイメージは、リアリズム絵画のなかに独自の位置を占めるものとして、高く評価されています。

本展では、初期から2000年代まで、半世紀に及ぶこの画家の歩みを、なま玉子をはじめとする代表作約70点によってたどります。

2 会期・休館日・観覧料

会期：2020年（令和2年）9月12日（土）～11月3日（火・祝）

開館時間：10時～18時

休館日：10月5日（月）

観覧料：一般：1000（800）円、高大生、65歳以上：800（640）円

*（ ）内は20名以上の団体料金

3 主催等

主催：横須賀美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網

協力：上田薰

企画協力：名古屋画廊

4 関連事業

詳細は美術館HP（<https://www.yokosuka-moa.jp/event/index.html>）をご覧下さい。

お問い合わせ 横須賀美術館 〒239-0813 横須賀市鴨居4-1

○ホームページ：<https://www.yokosuka-moa.jp> E-mail:kouhou@city.yokosuka.kanagawa.jp

○取材・画像提供に関するご質問 広報係：相良、八島、江山 電話 046-845-1211

○展示内容に関するご質問 担当学芸員：富田 電話 046-845-1212

本展の見どころ

1. 上田薫の歩みがわかる

1954年に東京藝術大学油画専攻を卒業した上田薫は、1958年に初めて開催した個展で抽象絵画を発表し、高い評価を得ています。その後、アメリカの映画製作会社が主催するポスター・コンペでグランプリを獲得し、1960年代はグラフィックデザインの仕事に専念しました。現在、上田の代名詞ともなっている写実的な作風は、こうしたキャリアを経たのちの1970年以降に確立されたものです。本展では、大学の卒業制作や1950年代、60年代の知られざる初期作品をご紹介します。

《「八月十五夜の茶屋」ポスター》1955年（2001年再制作）、108.0×77.0cm、フロッタージュ・紙、個人蔵



2. 代表作が一堂に

上田薫は、一つのモチーフを繰り返し描くことが多く、同じシリーズには描いた順にA、B、C・・・のアルファベットが振られます。たとえば、「なま玉子」は、AからQまでの、大きさや構図が微妙に違う作品が存在しています。ただし、これまでには、同じシリーズの作品をまとめて見る機会が、なかなかありませんでした。

《あわ K》1981年、117.0×545.5cm、油彩・カンヴァス、水戸市立博物館蔵



本展では、「なま玉子」「玉子にスプーン」のシリーズから3点ずつ、ジャムやはちみつを乗せたスプーンのシリーズから5点など、よく知られた上田のシリーズ作品を複数、展示し、同一シリーズの中の違いや共通点を見比べられるようにしました。また、これまでの上田作品のなかで最大規模である、幅5メートル超の《あわ K》（1981年、水戸市立博物館蔵）も展示します。

代表作と呼ぶにふさわしい秀作を一堂に集めた本展は、上田薫の絵画世界の深さを改めて知る機会となるでしょう。

3. 知られざる版画と水彩画も必見

高さ1.6メートルのなま玉子、幅2.2メートルのスプーンなど、もともとは小さなものをグッとクローズアップして、大画面に緻密に描くのが上田薫作品の魅力の一つ。

《玉子にスプーン》2014年、10.0×13.5cm、水彩・紙、個人蔵



その一方で、じつは小ぶりな水彩画やリトグラフも制作されてきました。モチーフは、玉子や野菜、水の流れなどで、大型作品とほぼ同じです。しかし、カンヴァスではなく紙に表現された、これらの小品は、油彩画と変わらない鮮やかな色彩、にじみやかすれなどをほとんど残さない筆致など、上田薫のエッセンスを大型作品以上に強く伝えるものとなっています。

本展では、初公開作品を含む水彩画・リトグラフ約10点をご紹介します。

掲載図版／プレゼント用招待券申込書

FAX : 046-845-1215 横須賀美術館食官 広報係行き

「上田薰展」

2020年（令和2年）9月12日（土）～11月3日（火・祝）

本展覧会の掲載図版ならびにチケットプレゼント用招待券（ペア10組分／20枚まで）をご希望の方は、下記へご記入の上FAXにてご請求ください。前頁「図版の使用について」をご一読の上、必要な図版に☑してください。



上田薰《スプーンのジャム A》

1974年、東京都現代美術館蔵

上田薰《なま玉子 A》

1975年、群馬県立近代美術館蔵

上田薰《あわ D》

1979年、個人蔵



上田薰《ジェリーにスプーン C》

1990年、埼玉県立近代美術館蔵



上田薰《サラダ E》

2014年、個人蔵

必ずご記入ください⇒ ○貴社名

○電話

○貴媒体名

○ご芳名（ご所属）

○メールアドレス（画像データ送付先）

○掲載・発行予定日 月 日 発行・公開 ○使用形態 印刷物 WEB 映像

○ご要望事項（サイズ・解像度など）

○読者・視聴者プレゼント用招待券 希望する（ 枚） 希望しない

※最大10組20名様分（20枚）まで。本展を貴媒体でご紹介いただける場合に限ります。

○ご住所（チケット送付先）

○図版の使用等について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。

「申込書」に必要事項をご記入のうえ、ファクスまたはメールにてお申込みください。

・「申込書」に記載のある画像以外は使用できません。

・作品画像は全図で使用してください。

トリミングや文字のせなど、画像の加工・改変はできません。

・画像データ使用は、本展覧会の紹介のみとします。

・申込書に記載してあるとおりのキャプション表記をお願いします。

・WEBに掲載する場合は、解像度72dpi以下とし、コピーガード（右クリック不可）を施してください。

・再放送、転載など二次使用の場合、別途お申込みが必要です。

・その他、著作権により使用制約がある場合や、ご希望に添えない場合がございます。

・原稿は掲載前に必ず当館「広報係」の確認を得てください。確認に期日を要するため、予め余裕をもってお送りください。

・展覧会場の取材、撮影をご希望の場合、「広報係」までご連絡ください。来館者の安全な鑑賞環境を優先するため、ご希望に添えない場合もございます。また、事前にご連絡のない取材、撮影はお受けできません。

・掲載誌（紙）、媒体（DVDなど）、URLなどを「広報係」あてに1部以上お送りください。

○プレゼント用招待券について

読者・視聴者へのプレゼント目的に限り、本展覧会会期中有効のご招待券を20枚（10組20名様分）までご提供します。ご希望の方は、「申込書」に必要事項をご記入のうえ、ファクスまたはメールにてお申込みください。

○交通のご案内

■電車をご利用の場合

*京急線「馬堀海岸」駅もしくはJR「横須賀」駅から
観音崎行バス「観音崎京急ホテル・横須賀美術館前」
下車徒歩2分

*京急線「浦賀」駅から観音崎行バス終点「観音崎」
下車徒歩5分

■車をご利用の場合

*横浜横須賀道路馬堀海岸I.C.から約3km（約5分）

